令和5年度 年間授業計画				田無工業高等学校						
教科・科目			業 製図			単位数		2		
対象学年·組 1学年都市工学科			教科担任			CA:門馬・幸田				
教科書			土木製図							
副教材			土木製図ワークノート							
教科 工業			の目的:							
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力 】		【学びに向かう力、人間性等】						
工業の意義や役割を理解する			工業における技術に、興味・関心を高める			広い視野と倫理観を持って工業の発 展を図る意欲的な態度を育む				
科目製図			の目的:							
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力】		【学びに向かう力、	人間	性	等)	]	
製図用具の正しい使い方を学び、正確に、明瞭に、迅速に図面を作成するための基礎、基本の技術を習得する			図面に示された記号の意味や、定めら 丁寧に図れた製図の規格についても習得する きる		丁寧に図面を仕上げる	るこ 	٤	が~	で 	
	単	元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準	知	思	態	時数
	て」 【知識及で <製図する する> 【思考力、 <寸法の記 【学びに向	製図について・製図の規格につい が技能】 る意味と必要性、製図の規格を理解 判断力、表現力等】 意味を理解する> 句かう力、人間性等】 が途切れず描くことができる>	使用方注 ・教材・ ・一人	をしながら、製図台・製図道具 <i>の</i> 法を指導	<ul><li>&lt;製図</li><li>&lt; 製図</li><li>&lt; 実際</li><li>【主体的</li></ul>	・技能】 に対して興味を持っている ・判断・表現】 に寸法確認を行っている> かに学習に取り組む態度】 から片付けまでの一連動作る>	0	0	0	4
1 学期	【知識及び <線の太さ 【思考力、 <線を等間 【学びに向	質と用途・文字の記載と基本事項」 が技能】 さを変えずに引ける> 判断力、表現力等】 間隔に引ける> 向かう力、人間性等】 が途切れず描くことができる>	等間隔( ・教材・ ・一人	事項 台に用紙を設置し、ドラフターで に線を引く練習> <土木製図・ワークノート> 1台端末の活用 等 1台の製図台の活用>	<ul><li>( 線の)</li><li>【思考</li><li>( 線を)</li><li>【主体的</li></ul>	・技能】 濃さ・太さの均等> ・判断・表現】 等間隔に振り分けている> かに学習に取り組む態度】 から片付けまでの一連動作る>	0	0	0	8

【知識・技能】

を行える>

<線の濃さ・太さの均等>

<線を等間隔に振り分けている>

<準備から片付けまでの一連動作

【主体的に学習に取り組む態度】

0008

【思考・判断・表現】

定期考查

定期考査

【知識及び技能】

C単元「線の練習課題・文字の練習課題」

<集中力が途切れず描くことができる>

<線の太さを変えずに引ける>

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

<線を等間隔に引ける>

・指導事項

に線を引く練習>

<実際にケント紙ヘドラフターで等間隔

・教材<土木製図・ワークノート>

・一人1台端末の活用 等

<1人1台の製図台の活用>

	E 単元「写図と読図について」	・指導事項	【知識・技能】				
	【知識及び技能】	<ワークノートP.37を写図する>	<線の濃さ・太さの均等>				
	<縮尺を変えずに写図できる>	・教材<土木製図・ワークノート>	【思考・判断・表現】 <寸法線・数字をきれいに描ける >				
	【思考力、判断力、表現力等】	・一人1台端末の活用 等			$\bigcirc$	$\bigcirc$	8
	<図面の構造物をイメージできる>	<1人1台の製図台の活用>					
	【学びに向かう力、人間性等】		【主体的に学習に取り組む態度】				
	<集中力が途切れず描くことができる>		<準備から片付けまでの一連動作				
	F 単元「写図課題」	・指導事項	【知識・技能】				
	【知識及び技能】	<ワークノートP.37を寸法を変え写図す	<線の濃さ・太さの均等>				
	<縮尺を変えて写図できる>	る>	【思考・判断・表現】				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材<土木製図・ワークノート>	<寸法を読み取ることができる>				
2  学	<三角スケールを読み取る>	・一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】	$\bigcirc$	$\cup$	$\cup$	16
期	【学びに向かう力、人間性等】	<1人1台の製図台の活用> <準備から片付けまでの一連動作を行える>					
	<集中力が途切れず描くことができる>						
	定期考査						
	G 単元通り	G 単元通り	G 単元通り			$\bigcirc$	16
	ロ 平元過り	日華ル温り	日 手九通り			$\cup$	10
	ata Un de ata						
	定期考査						
	J 単元「第三角法と演習課題」	・指導事項	【知識・技能】				
	【知識及び技能】	<3次元の対象物を2次元画像として平	<線の濃さ・太さの均等>				
	<第三角法を描くことができる>	面に正しく示す>	【思考・判断・表現】				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材<土木製図・ワークノート>	<3次元の物体を平面で処理でき	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	10
	<3次元で物体を捉えている>	・一人1台端末の活用 等	る>				
	【学びに向かう力、人間性等】	<1人1台の製図台の活用>	【主体的に学習に取り組む態度】				
	<集中力が途切れず描くことができる>		<準備から片付けまでの一連動作				
3 学 期			を行える>				
							소扎
							合計
	定期考査						70